

事業所名 放課後等デイサービス事業所 ゆいまーる

支援プログラム

作成日 7 年 1 月 16 日

法人（事業所）理念		可能性は無限大です。人生という夢のステージで利用者が主役となって輝けるよう応援します。そのために、「専門性・チームワーク・当事者意識」を合言葉に「利用者本位」を実践します。その結果、いつでも同じ、裏表のない支援「おもてなし」を提供し、ここで一緒に働きたいと、「評価」される職場環境を目指し、大事な家族を安心して任せられる、「信頼」できる施設を創り上げます。		
支援方針		障害児が生活能力向上のために必要な訓練を行い、社会との交流を図ることができるよう、5領域を含む総合的な支援プログラムを策定し、当該障害児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行います。		
営業時間		9 時 30 分から 17 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	学校や保護者からの情報をもとに意思表示ができない子どもたちの小さなサインや身心の異変、体調の変化に気付き、健康状態の把握を行います。クッキングなどを通して、苦手な物に挑戦したり、いろいろな食感を楽しむことで食べることへの興味・関心を増やしていきます。また、座る時の姿勢や箸やスプーンの正しい持ち方などを支援していきます。排泄の際の後処理など自分でできるように支援をしていきます。生活に必要な基本的な技能が身につくように支援をしていきます。		
	運動・感覚	器具を使った運動や運動メニューを通して、身体の機能を使った運動への取り組みを行います。簡単なストレッチや歩行訓練、指先を使った活動などを通して、指先の機能向上、握力、足を踏ん張る力などの向上を目指します。また、バランスボールやトランポリンを用いて、体幹などが鍛えられるように支援を行います。五感に刺激がいくような活動を行うことで、いろいろな感覚を覚え、慣れ、感覚の過敏の緩和を目指して支援を行います。		
	認知・行動	スケジュール表、絵カード、時計などを活用して、子どもたち自身が判断し行動にうつせるように試行錯誤を繰り返しながら、子どもたち一人一人に応じた支援をしていきます。普段の何気ない会話や行動、様々な活動などを通して、色、数、形、大きさ、重さなど自然と触れることで子どもたちの気づきへと繋がるように支援をしていきます。強度行動障害のある子どもたちがパニックにならないように環境を整え、個々の特性に応じた対応、こだわりへの理解を深め、支援をしていきます。		
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションが困難な子どもたちへの指さし、身振り、簡単なサイン、手話等を用いて意思疎通が可能になるよう支援をしていきます。学習障害のある子どもたちへの読み書きのサポートを行うことで、苦手意識を減らし、精神の安定を図っていきます。		
	人間関係 社会性	いろいろな集団遊びを通して、ルールを学んだり、お友達と楽しむことで安定した人間関係を築いていきます。強度行動障害のある子どもたちが集団の中で困り感なく、気持ちの安定化が調整できるように支援をしていきます。共有して使う玩具など大切に扱い、お友達と一緒に活動を楽しむことで、相互理解や対外的存在を認め合いながら、社会性の発達へと繋げていきます。		
家族支援	保護者同士の交流の機会の提供 家族の子育てに関する悩みや困りごとに関する相談援助	移行支援	進路や移行先の情報の提供 他事業所との連携・情報共有・移行した後の共通した支援 本人や家族への相談援助を通しての移行先の選択、準備等の支援	
地域支援・地域連携	相談事業所を通して、学校や他の障害児通所支援事業所とのきめ細かな情報共有 や医療機関とへのこどもの発達や生活における情報提供	職員の質の向上	外部研修、リモート研修、内部研修等を行い、自己研鑽し、支援の質の向上を目指す。	
主な行事等	端午の節句、七夕、夏祭り、敬老の日、十五夜、ハロウィン、クリスマス会、餅つき、初詣、七草、鏡開き、節分、桃の節句、避難訓練、誕生会、クッキング、買い物体験、地域交流等			